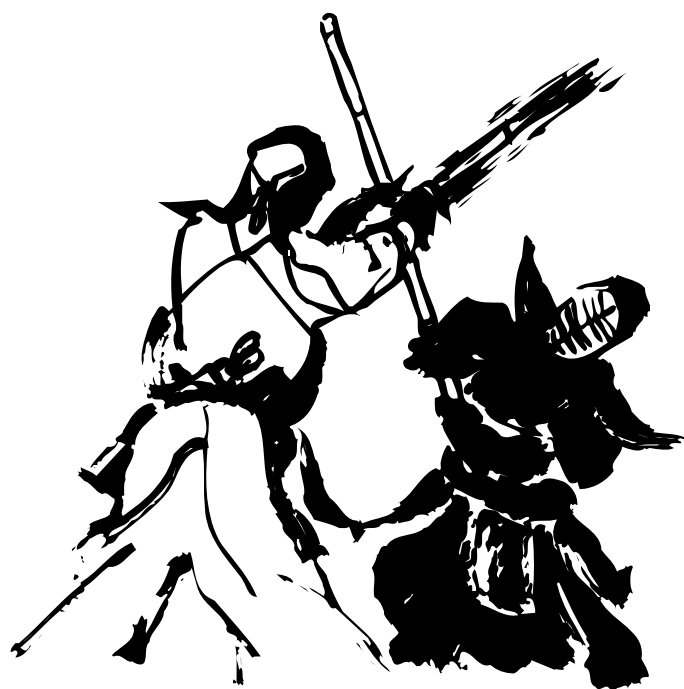


令和5年度

第25回 東三河中学校新人剣道大会

第55回 愛知県春季少年剣道大会東三河予選会



日 時 令和6年 2月4日 (日)

会 場 蒲郡市民体育センター

主 催 東三河剣道連盟

主 管 中小体連剣道部顧問者会

◇大会次第及び進行◇

■駐車場 ・蒲郡市民体育センター駐車場へ駐車する。

■受付 ・監督及び役員は受付を行う。

受付時間 11:00～11:30

(午前中、小学校の大会を実施しています。あまり早くに集合しないようにしてください。)

《係・監督・選手》

11:30 監督・選手 受付 入場

学校受付は施設の入り口で行います。オーダー表を提出します。

(午前中の大会進行によって、時間は前後します。)

午前中の大会終了後、準備の整った学校から練習開始(12:20まで)

12:25 選手集合 開会式の隊形に整列

12:30 開会式

1. 開式のことば
2. 会長あいさつ
3. 審判長注意
4. 閉式のことば

12:45 試合開始(審判長合図)

トーナメント終了後、各試合場1位の3校による決勝リーグ戦を行います。

16:30 閉会式

県大会出場を決めた男女各6校の選手は、整列してください。

1. 開式のことば
2. 成績発表ならびに表彰
3. 閉式のことば

16:45 県大会出場校説明会(記録席前)

17:00 完全退館

◇試合方法◇

- (1) 試合および審判規則は、全日本剣道連盟「剣道試合審判規則・細則」および愛知県中小学校体育連盟「剣道部申し合わせ事項」と日本中学校体育連盟「剣道部申し合わせ事項」、「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合審判法」に準ずる。
- (2) 予選トーナメントと決勝リーグとする。男女各3会場にて、予選トーナメントを行い、各試合場の1位の3校にて、決勝リーグを行う方式とする。
 - ① 試合時間は、**2分**3本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。チームの勝敗は、勝者数・取得本数の多い順とする。同数の場合には、任意の代表者1名による代表者戦を2分1本勝負とし、時間を区切って勝敗が決するまで行う。
 - ② 愛知県春季少年剣道大会の出場枠が6校。予選トーナメントの上位2校を東三河の代表校に選出する。尚、4, 5, 6位決定戦については行わない。



◇参加者心得◇

- 大会に申し込む人は、自己の責任において本大会に参加するものとする。
- 試合会場には、選手・監督・役員以外入れません。
- 観客席には、選手・監督・役員・付き添い者が入ることができます。
- 選手の下駄箱の使用を禁止します。各校、靴袋を用意し、各校でまとめて管理すること。
- 着替えは原則自宅で済ませておくこと。
- 剣道具及び竹刀、面手拭いなど、貸し借りをしないこと。(忘れ物をしないこと)
- 試合前及び試合後に、手洗い、うがい、手指消毒を心掛けること。
- 選手、監督(引率者)、付添者の応援は拍手のみとし、声援を禁止する。
- 試合が終了したら、すみやかに会場(施設)から退出してください。
- 試合後、監督と選手のミーティング(指導)を行う場合は、試合会場の外で行ってください。
- 開会式および閉会式は、簡素化して短い時間で行います。
- 次の場合、大会を中止します。
 - 全日本剣道連盟より大会中止の要請がある場合
 - 大会当日、午前6時時点で暴風警報・暴風雪警報発令中の場合

◇試合進行上の留意点、試合上の注意事項◇

(1) 団体戦の出入りについて

- 大会運営をスムーズに行うため、団体戦における先鋒戦の開始については、監督が待機場所に座ったことを確認してから「はじめ」の宣言を行う。次の試合の監督は、始礼（始めの礼）後、速やかに前列待機場所に移動し、選手を待たずに着座すること。
- 次の試合の選手は、前の試合の終礼（終わりの礼）が行われたら、直ちに2列目の待機場所より試合場の立礼の位置へ移動し、団体戦の始礼を行う。面・小手・竹刀の移動は、始礼が終わった後に行う。

(2) 団体戦の代表戦の延長戦は以下の通りとする。

- 延長戦は2分ずつ区切って行う。
 - ・ 試合時間2分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩（面を外して休息・給水）】
 - ※上記を繰り返す。
 - 【小休止】 ⇒ 開始線の位置で10秒程度の深呼吸。
 - 【休憩】 ⇒ 立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。試合再開までの時間は5分とする。

○ 給水について

- ・ 計時係はタイマーをもって、審判主任に伝える。審判主任は、ホイッスルで伝える。選手は、待機場所の上で面を取り、壁側で給水する。その際、審判員は一度審判控え場所に退場する。給水中における、監督からの選手への指導は認めない。

(3) 試合者が、試合中に中止要請をする場合、手をあげて「タイム」と発声すること。

(4) 試合者は、面をつけている時は面マスクまたはシールドを着用する。面をつけていない時は個人の判断とする。

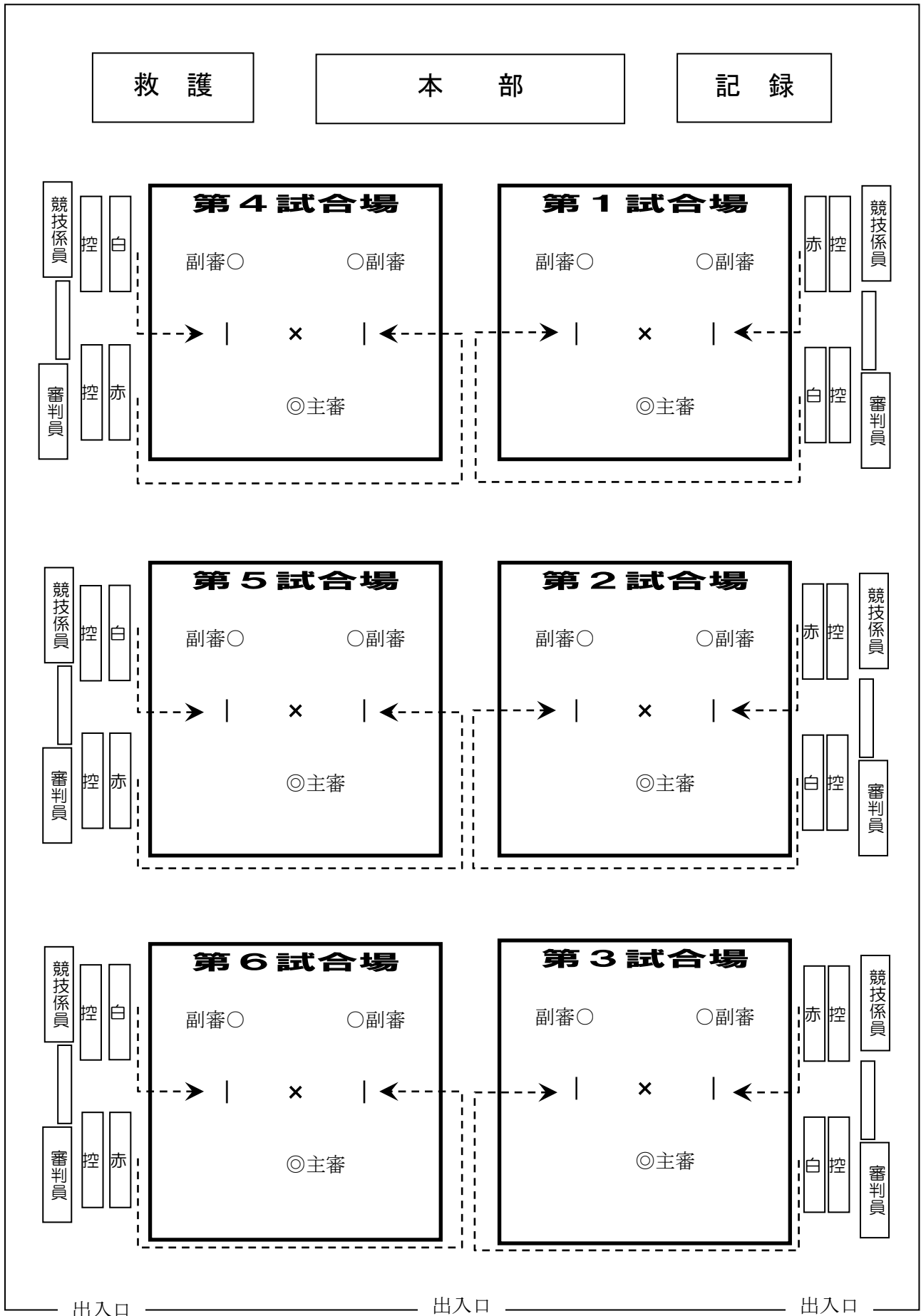
(5) 鍔迫り合いについて

- ・ 「つば(鍔)競り合い」あるいは相手と接近した場合は、試合者は積極的に技を出すか、積極的に解消するよう努力しなければならない。試合者は、審判員の「分かれ」や「止め」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。
- ・ つば(鍔)競り合い解消に至る時間は「一呼吸(目安としておよそ3秒)」とする。
- ・ つば(鍔)競り合いを解消する場合は双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、正しい「つば(鍔)競り合い」から鍔と鍔で競り合う(押し合う)力を利用して一気に下がる。
- ・ つば(鍔)競り合いの際、裏交差になっている場合は、正しいつば(鍔)競り合い(表交差)に戻してから、或いは戻しながら解消する。再三繰り返したり、意図的な行為と判断されたりした場合は、合議の上、反則を適用する。
- ・ 試合者は、分かれる場合は剣先が完全に触れない位置まで互いに分かれる。
- ・ 分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれたりしない。
- ・ 相互に分かれようとしている途中に技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。分かれようと思わせかけて打突する行為は反則を適用する場合がある。また、分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「押さえつけたり」「逆交差」をしない。(審判員は状況や原因を踏まえた上で合議により判断する)

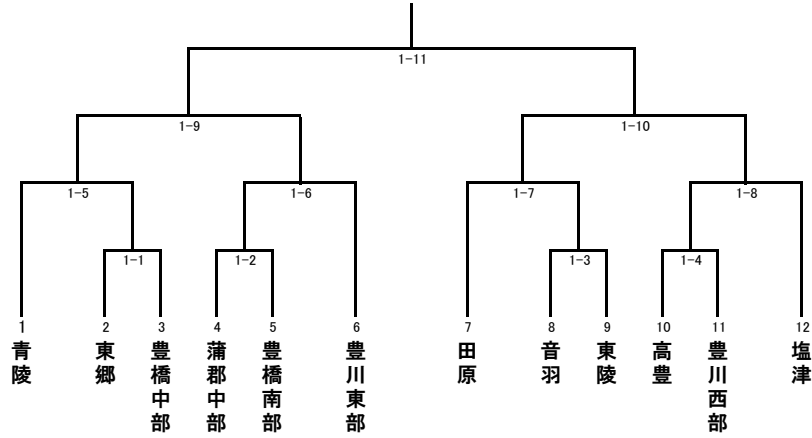
(6) 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近する行為は反則です。

◇会場図◇

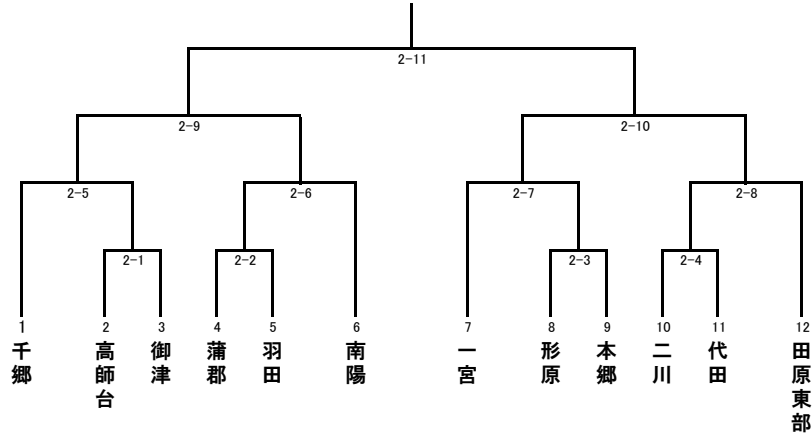
- ◎ 会場では、体を冷やさないような工夫（ベンチコートを着用するなど）をすること。
- ◎ 今の試合から数えて4試合目以降の選手は、競技係員席、審判員席の後部を待機場所として使用しないこと。



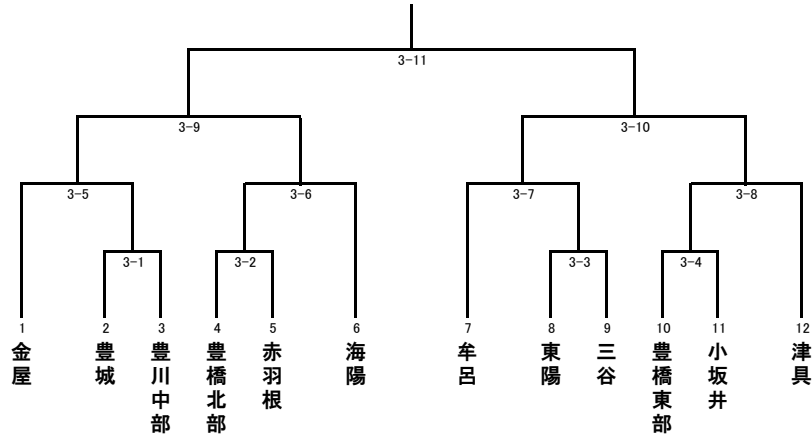
男子学校对抗戦(第1会場)



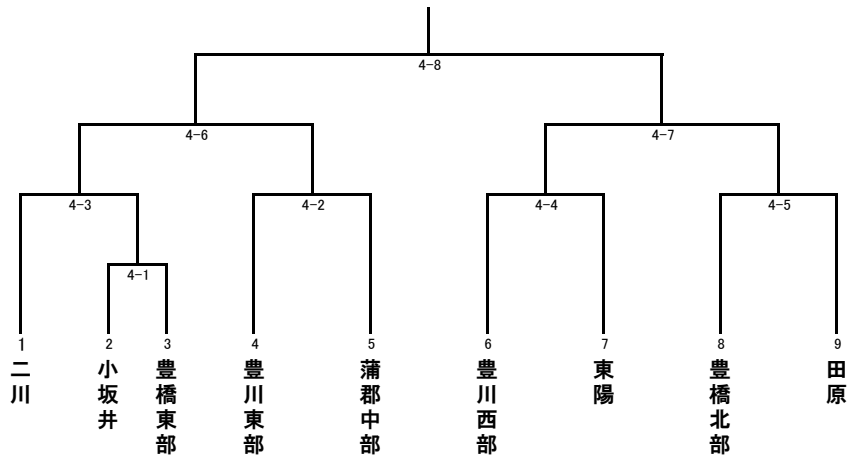
男子学校对抗戦(第2会場)



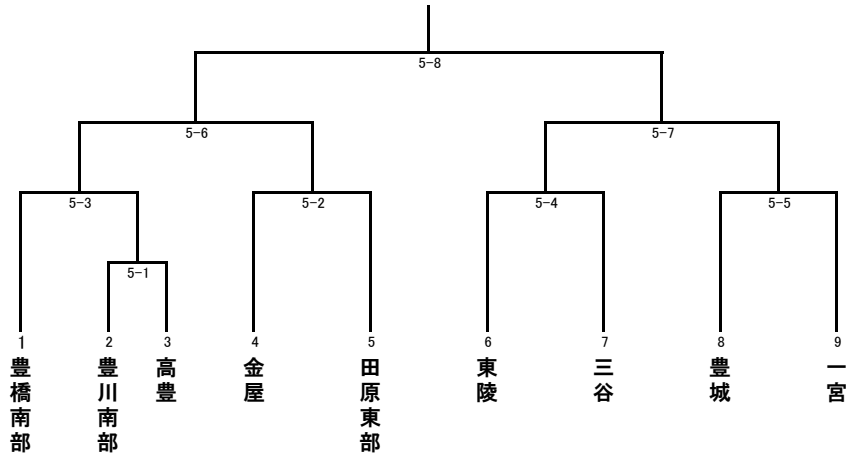
男子学校对抗戦(第3会場)



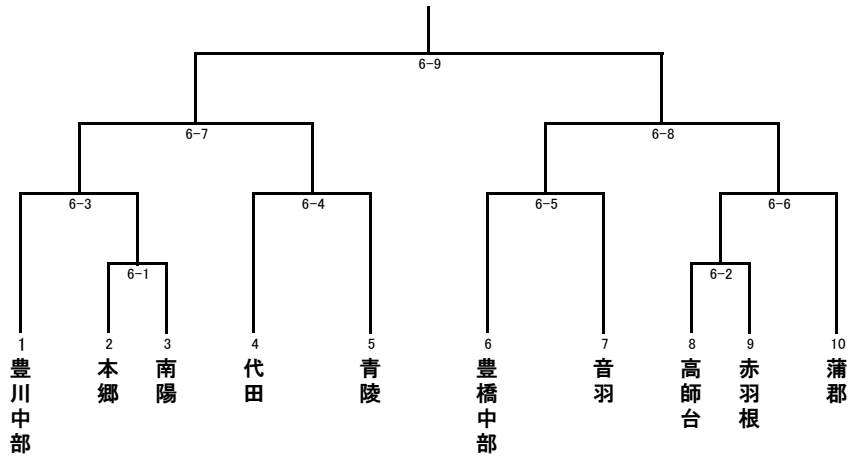
女子学校对抗戦(第4会場)



女子学校对抗戦(第5会場)



女子学校对抗戦(第6会場)



男子決勝リーグ

第1試合場	①	②	③
第1試合場 1位	\		
第2試合場 1位			
第3試合場 1位			
勝数			
勝者数			
取得本数			
代表戦			
順位			

試合順	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	本数 勝数	勝 敗
1	②							
	③							
2	①							
	③							
3	①							
	②							

女子決勝リーグ

第4試合場	①	②	③
第4試合場 1位	\		
第5試合場 1位			
第6試合場 1位			
勝数			
勝者数			
取得本数			
代表戦			
順位			

試合順	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	本数 勝数	勝 敗
1	②							
	③							
2	①							
	③							
3	①							
	②							